

教材事例書式

教材教具名 にじをつくったのだあれ	教科（国語）	情報提供者（小学部4年生）
 <p>教材教具写真</p>		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい 具体物と具体物、写真カードと具体物、言葉と具体物のマッチングができる。</p> <p>2 発達段階など 模倣・指差しを獲得する時期</p> <p>3 使い方 児童の発達段階に応じて、教師に渡された具体物・写真カード・言葉と同じ具体物を選び、正解すると選んだものを引っ張ることができる。引っ張ることによりその具体物と同じ色の虹がかかっていく。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<p>目の前の画面の空に虹がかかっていく様子を児童は興味深く見ていた。選んだものを引っ張る活動も意欲的にすることができていた。</p> <p>使ってみての気づきは、虹のリボンが長すぎると引っ張る活動が虹を作る活動に結びつかなくなるということ。引っ張る児童の位置から画面が見えるように、児童の立ち位置を教師が調整してやることが大事であることがわかった。</p> <p>「にじをつくったのだあれ」の絵本は、児童がとても興味をもって見ることができ、しかも視覚的にもきれいで、わかりやすい繰り返しのある絵本なので、興味をもって活動することができた。</p>		